冨島建設のイノベーションを牽引する先進技術

TECHNOLOGY

ICT 施工

情報通信技術（ICT：information and communication technology）の導入により作業の効率化と施工品質の向上を実現します。事務所で作成した3D設計データをインターネット経由で重機に反映させることで、従来の測量士による丁張作業が不要となりました。また、GNSSを使った測量やドローン測量による点群データの作成も行っております。







自動化施工

従来のリモコン等による遠隔操作とは異なり、職員がタブレット端末で複数の建設機械に作業計画を指示し、自動運転を行います。「現場の工場化」実現に向け、成瀬ダム等で実用化が進んでおり、人手不足の解消や安全・品質の向上に期待されています。







無人化施工

ラジコン操縦で建設機械を遠隔操作する技術で、大手ゼネコンと重機メーカーが中心となって開発が進められてきました。当社は1995年（平成7年）9月、他社に先駆けて長崎県・雲仙普賢岳の災害復旧工事でラジコン重機を導入し施工に携わりました。長年培ってきた技術を活かし、安全で効率的な建設現場の実現に貢献しております。







超遠隔操作

特定の人や場所、時間に制約されずに施工が可能となります。また、システムを導入することで多様性のある人材の確保も目指しています。災害時にはオペレーターが立ち入れない場所での復旧作業に対応し、将来的には大阪から海外の施工現場をリモート操作することも視野に入れています。





